

参入市町村名	鹿児島県西之表市	
法人等名（業態名）	株式会社西田工業（建設業）	
参入の種別	「さつまいも地域資源再生特区」（平成 16 年 3 月）、認定農業者	
農業部門の概要	栽培作物	甘藷（安納芋）・たまねぎ
	経営規模	85ha
	雇用者数	正社員/22 名・パート、アルバイト/35 名
地域の概要	<p>【地域の農業の特徴】 「安納イモ」のブランドで有名なカンショやサトウキビ、稲作等が中心で、酪農や肉用牛の飼育も行われている。また温暖な気候を利用した野菜、花き・球根類の栽培も盛ん。</p> <p>【農業構造】 農業就業人口割合は 28%とまだ高いものの、担い手の高齢化・減少が進んでおり、担い手への農地利用集積も困難になりつつある。</p> <p>【自治体としての農業への取り組み等】 市では平成 16 年から構造改革特区制度をスタートさせ、遊休農地の解消を図るとともに、地域振興を図ってきた。同制度の推進にあたっては、対象地区住民の理解を得るために、1 展示圃の設置、2 地元説明会、3 休校を使用して「さつまいも」に関するイベント開催、4 参入企業募集を行うなど、きめ細やかな対策を実施</p>	
参入の動機、きっかけ、参入の経過など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バブル崩壊後、平成 13～14 年をピークに公共事業が激減した</li> <li>・ 社員をリストラしないで企業が生きる道を模索した</li> <li>・ ノウハウが体に染みこんでいる「農業」での経営規模の維持拡大に着手した</li> <li>・ 焼酎ブーム・安納いもブームが到来した</li> <li>・ 農地を求めていたときに、市からさつまいも特区の話があった</li> </ul>	
農業経営（農業事業）の内容	安納いも 65ha を栽培。青果用芋の他、焼酎用・焼き芋用・ペースト・グラッセと加工にも力を入れている。（平成 23 年からはたまねぎの作付けを開始）。	
農産物の販売状況	焼酎用甘藷を加工冷凍、貯蔵し販売するとともに、近年は「安納芋」の生産加工に重点をおいて取り組んでいる。年間の出荷量は焼き芋が 200t、焼酎用「安納芋」が 270t、ペースト用が 200t 程である。	
農業参入にあたって苦労したこと	職員の大半が農業経験者であったことや、政府の政策（特区法）や焼酎ブームなどにもあって、軌道に乗るまで、たいした苦労は特に感じなかった。	
現在の課題、問題点	効率的な農業展開には農地の集積が重要で、原野化した遊休農地を借り受け開墾したいとき、林地開発制限（1ha 未満）がかかる。	
農業参入で良かったと思う点	地域と交流を深め、農業についても農家の人に栽培方法を聞くなど、地域に密着して共にやっていく取り組みができており、それがエネルギーになり、地域の振興にもつながっている。	
今後の展開方向、行政や関係機関に望むこと	技術・品質の向上に努め、環境にやさしい、心のこもった製品を提供できる企業をめざす。将来にわたって種子島の農業が持続的に発展していくよう、地域の方々と共に「豊かな生活」獲得実現のため、行政の力も借りながら努力していきたい。補助事業に関してもう少し規制の緩和を図ってほしい。	